



五日市線ダイヤ

昼間の運行を1時間に2本にする計画 9本の減便となります

JR五日市線改善特別委員会が開催されました。3月14日のダイヤ改正に当たってのJR東日本のプレス発表がされました。今回のダイヤ改正では、五日市線・青梅線の昼間の時間帯で減便になります。西多摩地域の鉄道利用者にとって影響が大きいことから、市と市議会が協議する必要があるためJR五日市線改善特別委員会が1月29日に開催されたものです。以下、報告します。

主なダイヤの改正点

青梅・五日市線に関するダイヤ改正

青梅線～中央線の直通列車が増えます。

- 上り 青梅発5.39快速が東京直通に
青梅発6.29快速が東京直通に
- 下り 東京発19.06快速が青梅に

青梅線～五日市線の直通列車が増えます。

- 五日市発18.04が立川直通に
- 五日市発18.47が立川直通に
- 立川発五日市直通が増えます
18.42立川発が五日市直通に
19.34立川発が五日市直通に

★五日市線の昼間の運行本数を9本減らします。

★ダイヤ改正に関する情報は次のホームページで
<http://www.jreast.co.jp/hachioji/> の「新着情報」

特別委員会での戸沢議員発言

市議団から戸沢ひろゆき議員が参加しています。特別委員会での発言の要旨は次の通りです。

- ① データタイム時刻は、都の「10年後の東京都プラン」の後退である。鉄道は公共交通です。日中の本数が減っては困る。
- ② 25区に一人しかいない国会議員に改善交渉するよう申し入れるべきだ。
- ③ 前市長は、よくJR八王子支社に五日市線の改善を申し入れに行き、市議会に報告していた。もっと行政が努力して欲しい。
- ④ 特別委員会も、市民と協力して改善を求めるべきだ。

JR五日市線改善特別委員会を前に
西多摩地区議長会が要望書を提出しました。

西多摩地区議長会の要望書 全文

東日本旅客鉄道株式会社
八王子支社長 佐藤裕様

平成27年2月5日

西多摩地区議長会
会長 乙津豊彦

青梅線及び五日市線の輸送体系の見直しに関する要望書

厳寒の候、貴社におかれましては、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。さて、平成27年3月のダイヤ改正では、青梅線、五日市線及び八高線の各線において直通列車が増えるなど、利用者の利便性の向上が図られることとなりました。深く感謝するところであります。一方で、青梅線及び五日市線において輸送体系の見直しが行われ、青梅線では朝夕の時間帯を中心に、五日市線ではデータタイムを中心に運転本数が大幅に削減されることとなり、圏域住民及び鉄道利用者からの反響も非常に大きいものとなっております。

公共交通として鉄道が担う役割の大きさ、使命に鑑みると、当会としましては西多摩地区の発展にとって、現状の運転本数の維持・確保は欠かせないものと考えております。全国的に人口減少が進む中、西多摩地区の各市町村でも少子化対策や定住促進、シティセールス、観光振興などに取り組んでいるところであり、今後もこのような生き残りをかけた施策の展開が求められています。その施策の柱となるのが公共交通の活性化であり、鉄道はその根幹となるものであります。

このようなことから、青梅線及び五日市線の輸送体制の見直しによる本数の削減については、再度検討していただくよう強く要望致します。

——法律相談——

2015年2月26日(木) 午後1時半～3時
弁護士との関係で、市議団に予約が必要です。